

「植物も擬態する」

無毒の蛇が毒蛇に似た模様をもっていたり、アブが毒針をもつスズメバチにそっくりなことがあります。これを「擬態」と呼びます。毒をもたない動物が危険な動物のふりをするにより天敵から身を守っているわけです。一方で、植物の擬態はあまり聞いたことがないと思います。ところが、最近は植物でもさまざまな擬態があるのではないかと考えられるようになってきました。例えば、写真のキシュウスズメノヒエの黒い葯(やく) (花粉を作る部位) はアブラムシが群れているように見えます。また、オオオナモミの茎の斑点はアリがたくさん登っているみたいです。では、植物にとってこのような擬態にどんな利点があるのでしょうか。アブラムシがたかっている植物は鹿などの草食ほ乳類にとって味が悪いですし、蝶の幼虫、バッタなどがアリのいる植物を食べようとすればアリに攻撃されてしまいます。そのため、動物や昆虫はアブラムシやアリに擬態した植物を敬遠するのかもしれない。



キシュウスズメノヒエの葯



アザミにいたるアブラムシ

(都市環境グループ 山崎一夫)

第17回 一日体験講座のご案内

1面で紹介しました一日体験講座(大阪市立環境科学研究所・大阪府立公衆衛生研究所共催)を以下の通り開催します。

- 日時 : 平成25年10月26日(土) 13時~16時
- 場所 : 大阪市立環境科学研究所(右図参照)
- 定員 : 40名(A,B各コース20名ずつ)
- 参加費 : 無料
- 申込資格 : 高校生以上



Aコース 「測ってみよう! 果汁のビタミンC」

1面の記事をご参照ください。

Bコース 「食品中の天然色素と合成色素の違いを確認してみよう」

Bコースでは、食品から色素を取りだして、天然色素と合成色素の違いを確認します。食品を選ぶ時には、味や品質だけでなく、見た目も気になります。食品の外観のうち色は重要で、加工するときに、色素(着色料)で色を付けることがあります。この色素には、植物などから取る天然の成分と人工的な合成品の2種類があります。チョコレートなどお菓子を例にして、食品から色素を取りだし、これらの違いを確認していただきます。

----- お申し込みについて -----

「一日体験講座」のお申込みは、往復はがき、電子メールまたはファックスで受け付けています。住所、氏名、連絡先、希望コース名(AまたはB)をご記入ください。申込×切は10月5日(土)必着とします。申込多数の場合は抽選とします。また、申込者数が少ない場合は、実施しないことがあります。

お申し込み先

往復はがき : 〒543-0026 大阪市天王寺区東上町 8-34 大阪市立環境科学研究所 企画グループ
 ファックス : 06-6772-0676
 電子メール : seminar-kankaken@city.osaka.lg.jp
 お問い合わせ電話番号 : 06-6771-3043

本誌は年4回(6・9・12・3月)の発行です。

本広報誌では皆様からの質問コーナーを設けております。環境、衛生、栄養などに関する質問を郵便や電話で気軽にお寄せ下さい。

〒543-0026 大阪市天王寺区東上町 8 番 34 号 電話 06-6771-3043

大阪市立環境科学研究所 調査研究課企画グループ 「健康・環境・サイエンス」係

ホームページアドレス http://www.city.osaka.lg.jp/shisei_top/category/893-33-4-0-0.html